

図書館ホームページ <http://www.izunokuni.library-town.com/>
※伊豆の国市公式ホームページからもリンクしています



図書館だより

＊【 】内は所蔵館名

『一朝の夢』梶よう子(著)



／文藝春秋
朝顔栽培だけが生きがいの同心・中根興三郎は、宗観という謎の武家と知り合ったことから、桜田門外の変に巻き込まれていく。第15回松本清張賞受賞作。【葦山・長岡】

『庭のつるばら』庄野潤三(著)



／新潮社
丘の上に暮らす老夫婦の日常。庭に来る小鳥や丹精したつるばら、子どもやたくさんの方の孫、ご近所との交流…。家族の原風景を描く。【全館】

『育てて楽しむ はじめての緑のカーテン』



／家の光協会
緑のカーテン応援団(著)／家の光協会
ゴーヤーやヘチマ、アサガオなど様々なつる植物を育てて楽しむよう、豊富な写真でわかりやすく説明。【葦山】

問合せ

【中央図書館】 ☎ 0558-76-5566
毎週月曜日休館
【長岡図書館】 ☎ 055-947-2364
毎週月曜日休館
【葦山図書館】 ☎ 055-949-8605
毎週水曜日休館
《各館開館時間 9:00～17:30》
各館の休館日(年末・年始含む)は、今月のカレンダーや、市ホームページなどをご覧ください。



おはなし会

中央…3月10日(土) 11:00～
長岡…3月15日(木) 14:30～
葦山…3月10日(土)、24日(土) 各 14:00～(30分程度)
対象／赤ちゃん～小学校低学年くらいまで(申し込み不要)。

その他、
『はじめて育てる寄せ植え』【中央】
『ひと目でわかる!庭木の剪定 庭に植えたい樹木 80種の剪定を紹介』村越匡芳(監修)【長岡】
『盆栽生活 寄せ植えで楽しむ、一鉢の春夏秋冬』石川治子(監修)【葦山】
『半日陰、日陰を楽しむ』奥峰子(著)【葦山】もおすすめの本です。

図書館を使いこなす!

おはなし会の巻

「お話してくれなきゃ寝られない」
「それじゃ、お話してあげましょう…」

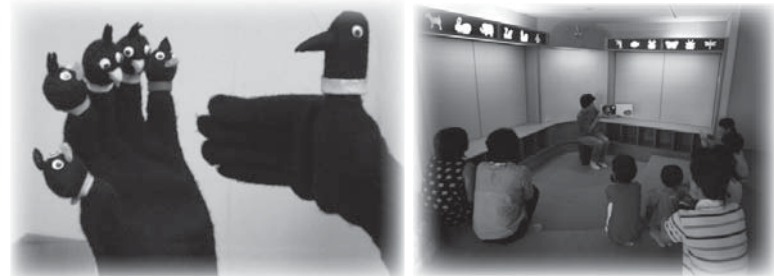
カラスの親子のかけあいに、自然と笑顔がこぼれます。黒い手袋でできたカラスが、まるで生きて動いているようです。

「…おやすみなさい」最後にお母さんカラスも寝てしまうと、聞いていた子どもたちも満足そうに笑いました。小さな子は、側にいたお母さんの膝の上に顔をくっつけています。



次は絵本が出て来ました。みんなの目が集まります。『やいた やいた』…どんなおはなしかな?

絵本や手あそびをみんなで楽しむおはなし会。各図書館



では毎月、おはなし会を行っています。当日、会場になった図書館にあれば、誰でも楽しむことができます。みなさんも、おはなし会に参加してみませんか?

おはなし会の予定日は、このページ右上の問い合わせ欄にあります。詳しくは各図書館へお電話ください。

スタッフ通信



わが家で『おかあさんはおこりんぼうせいじん』という絵本を読んだところ、子ども達は大爆笑。私もクッと笑ってしまいました。これからもたくさんの楽しい本に出会えたらいいなあと思います。(図書館司書 高橋)

安政1年(1854年)11月に起きた安政の大地震にも耐え、葦山反射炉建造は続行されました。しかし翌安政2年正月16日、さらなる試験が襲います。プロジェクトのリーダーである江川坦庵公が病に倒れ、帰らぬ人となったのです。

葦山代官としての職務に加え、品川台場と反射炉の築造、西洋砲術指導、さらに大地震による被害状況の把握と復旧、津波で座礁・沈没したロシア船ディアナ号の代船(ヘダ号)建造など、ペリー来航後の坦庵公は多忙を極めていました。度重なる激務による過労が、坦庵公の死期を早めたことは否めません。

坦庵公の跡を継いだのは、まだ年若い長男・英敏でした。この英敏を、坦庵公が育てた部下たちが補佐して

その2(2月号)の続き

安

きた安政の大地震にも耐え、葦山反射炉建造は続行されました。しかし翌安政2年正月16日、さらなる試験が襲います。プロジェクトのリーダーである江川坦庵公が病に倒れ、帰らぬ人となったのです。

反射炉の工事は継続され、同年2月11日には銑鉄*1を溶かすところまでこぎ着けました。『反射炉御取立中日記』には「壱番反射炉*2半双にて、初めて今晚九時半時*3より吹き始め」とあり、銑鉄535貫目(2ト余り)を10時間ほどで溶解し、18ポンド砲の金枠と銑台*4の付属金具を鑄造したと記されています。

しかし、その後工事は難航しました。特に炉内の設計が難しく、試行錯誤を繰り返したものの、鉄製大砲を鑄造するのに十分な性能を得られず、いたたのです。その難局を打破するため、安政2年8月、英敏は既に反射炉を完成・運用していた佐賀藩に応援を求めます。

佐賀藩が日本初の反射炉を築造するにあたっては、江川坦庵による情報提供や配下の鑄物師派遣などの技術協力が行われていたこともあり、その息子英敏からの応援要請に對して、佐賀藩は反射炉技師と職人の葦山派遣を了承しました。実際に田代孫三郎・杉谷雍助ら佐賀藩の技師たちが応援に訪れたのは安政4年(1857年)2月のことでしたが、それにより、葦山反射炉の築造は、飛躍的に前進することになりました。(その4に続く)

文化財講演会

葦山反射炉

～160年のミステリーに迫る～

世界遺産候補として一躍有名になった葦山反射炉ですが、その性能等には多くの謎が残されています。葦山反射炉の謎に迫る講演会。

とき 3月24日(土)
13:30～15:30

ところ 葦山庁舎大会議室

講師 菅野利猛氏
(工学博士、木村鑄造所取締役開発部長)

問合せ 文化振興課歴史資源活用推進室

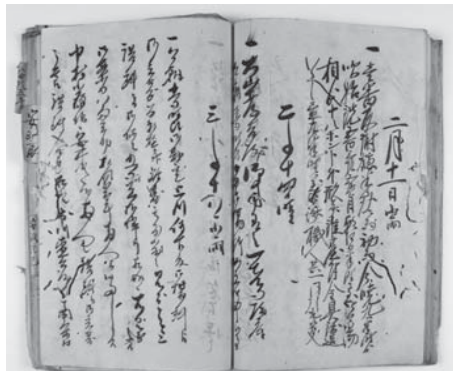
入場無料

問合せ

文化振興課 歴史資源活用推進室
☎ 055-949-8609

文化財通信

その81 葦山反射炉の築造記録(その3)



反射炉御取立中日記
安政2年2月11日条
(財団法人江川文庫蔵)



江川英敏像(江川家蔵)

術協力が行われていたこともあり、その息子英敏からの応援要請に對して、佐賀藩は反射炉技師と職人の葦山派遣を了承しました。実際に田代孫三郎・杉谷雍助ら佐賀藩の技師たちが応援に訪れたのは安政4年(1857年)2月のことでしたが、それにより、葦山反射炉の築造は、飛躍的に前進することになりました。(その4に続く)

先

日、函南町で行われた『函南町、伊豆市、伊豆の国市合同(田文連)手工芸展』の様子を、市文化協会手工芸部長の稲葉和男さんに紹介していただきます。

●合同手工芸展に参加して

1月27日(土)29日に函南町中央公民館で開催された合同手工芸展には、2市1町31団体から856点の力作が所狭しと並べられました。函南町からは陶芸の花器、セーター、押し花、ちぎり絵、ガラス工芸等。伊豆市からは特殊粘土の人形、パッチワーク、陶芸の小鉢、ダルマ等。伊豆の国市からはトールペイントの壁掛け、竹細工のパラソルトンボ、手毬、パッチワークのパグ、3Dアート、ドライフラワー等が出品されました。作品は各地区ごとに特徴があり、参加者は良い刺激を受け、新たな創作意欲をかき立てられました。三日間で600人以上が来場し、他地区との交流もできて、有意義な展示会でした。



文化協会
だより
71

函南町、伊豆市、伊豆の国市
(田文連)
合同手工芸展